

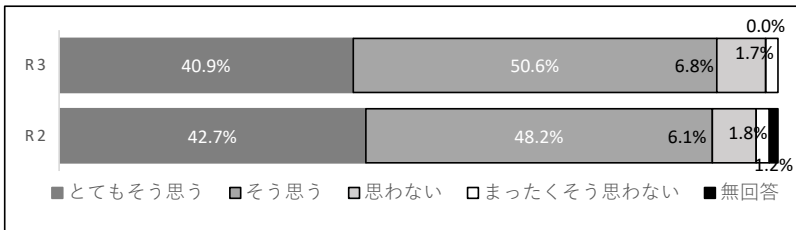
# 令和3年度 学校教育アンケートの結果

令和4年2月25日 吹田市立青山台小学校長 熊野 厚博

保護者のみなさま、今年度も学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。  
コロナ禍のお忙しい中、76%（回答数176名/全児童数231名）の保護者の方に回答をいただきました。  
今年度、参観等がないことから、質問内容を減らしてアンケートを実施いたしました。質問事項を令和2年度（設問によっては元年度）と比較し集計結果をまとめましたので、下記の通り報告いたします。  
ご意見につきましては、教職員全体で真摯に受け止め、学校力の向上、教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。  
今後とも、青山台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

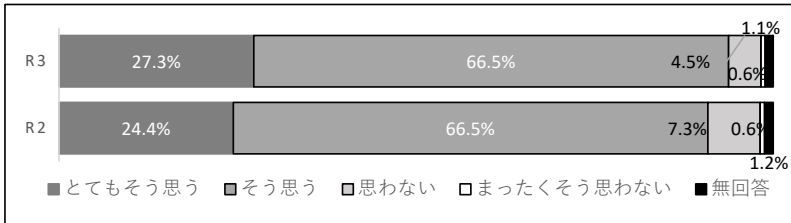
## 【保護者アンケート】

### 1. 子どもは、楽しんで学校に行っている。



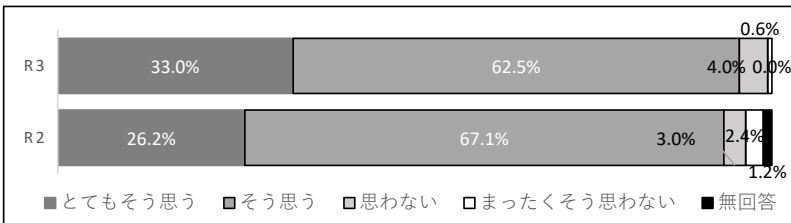
肯定的な回答の割合は、91%を超え、昨年度をやや上回る結果となった。今後もいじめ防止の取り組みを充実させ、新学習指導要領に沿って楽しい学習や行事への取り組みを進めていきたい。

### 2. 先生は子どもを理解している。



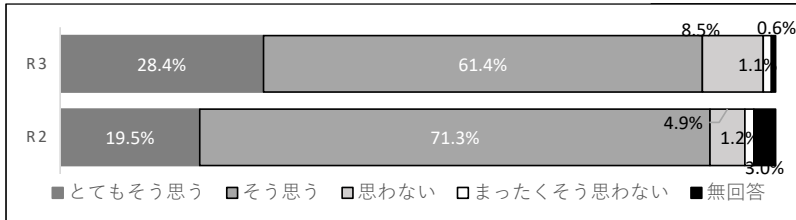
肯定的な回答の割合が93.8%と、昨年を上回る結果となっている。引き続き児童との関わりを大切に、更によりよい教育活動が行えるように取り組む。

### 3. 先生は子どものまちがった行動を指導してくれる。



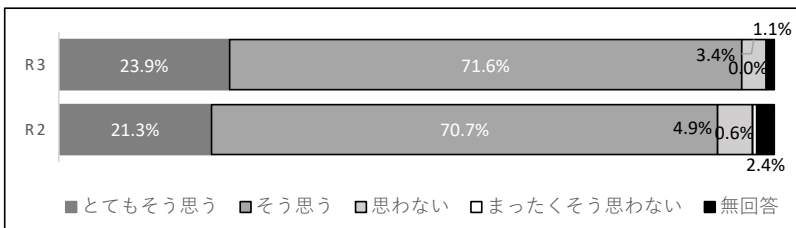
肯定的な回答の割合が95.5%と、昨年を上回っている。「とてもそう思う」の割合が6.8%の大きな上昇となった。生徒指導上の課題も対応しながら、学校でのルールやマナーについてもさらに指導を進めたい。

### 4. 先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。



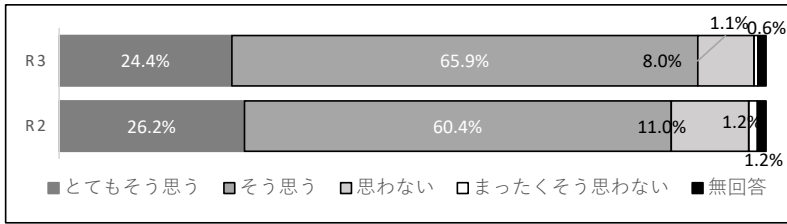
肯定的な回答の割合が89.8%で、昨年をやや下回る結果となった。担任を中心とした教職員集団がそれぞれの児童に対し適切な評価をするべく、教職員間の連携を密にし、子供をしっかり見ていく。

### 5. 先生は互いに協力し合っている。



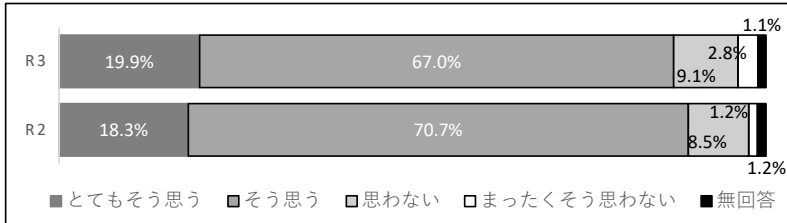
肯定的な回答の割合が95.5%と昨年度を上回る結果となった。引き続きコロナ禍の学校教育が続くが、教職員が連携した組織体制づくりを進めた結果だと認識しているが、今後さらに取り組みを進める必要がある。

6. 学校は子どものことについて相談しやすい雰囲気である。



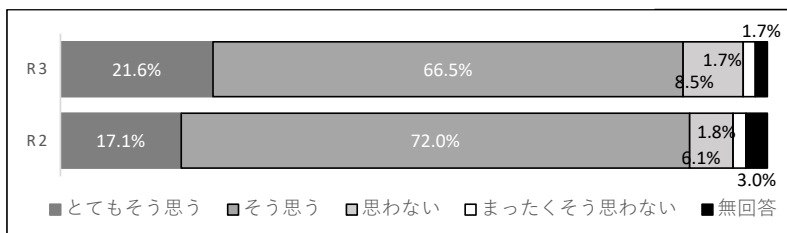
肯定的な回答の割合が90.3%と、昨年を上回っている。引き続き学校として、担任のみならず、養護教諭や特別支援コーディネーターを中心としてスクールカウンセラーやSSWなどと連携してさらに取り組みを進めていく必要がある。

7. 学校は教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。。



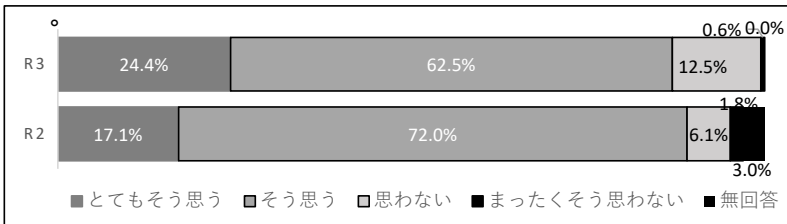
肯定的な回答の割合が86.9%と、昨年を下回っている。コロナ禍の中、参観や懇談もほとんど実施できず、学校として発信方法を改めて工夫していく必要がある。お便りや学校ホームページのブログなどを有効に活用し、更なる情報提供に努めていきたい。

8. 指導内容や方法について工夫している。



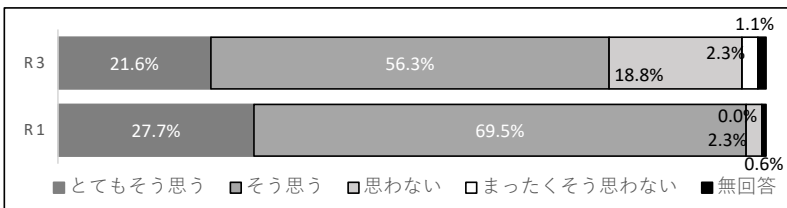
肯定的な回答の割合が86.9%と、昨年と比べやや下回っている。コロナ禍の中、iPadを使っの授業作り、家庭学習への活用などまだまだ不十分な現状がある。改めて指導内容、方法について研究を深め、楽しくわかりやすい授業を作っていきたい。

9. 学校からのお知らせ（学校だより・学年だより・ホームページ・緊急メール等）の内容は適切で分かりやすい。



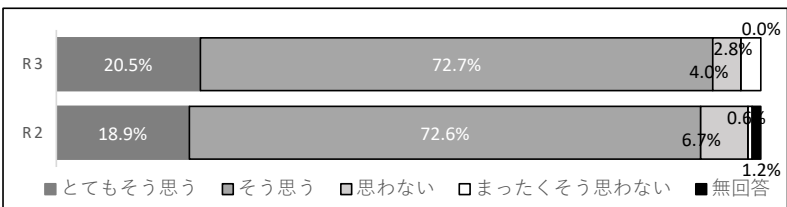
肯定的な回答の割合が86.9%と、昨年をやや下回っている。臨時休業や分散登校、度重なる行事の中止などの連絡がわかりにくいものになっていた可能性がある。問題を総括し、改善していく。

10. 授業公開や懇談会、学校行事に参加する機会が適切に設定されている。



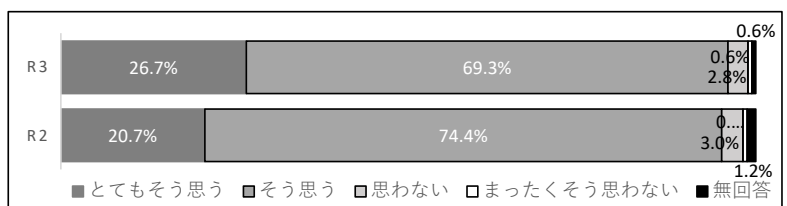
肯定的な回答の割合が77.9%と、一昨年より大きく下回る結果となった。令和元年はコロナ以前であり、その頃と比較するのは厳しい状況ではあるが、次年度もできるだけ保護者の方が学校を見ていただける方法を考え、機会を作っていく。

11. 「学校のきまり」は子どもにとって適切である。



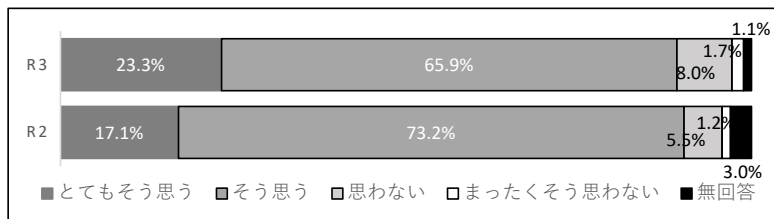
肯定的な回答の割合が93.2%と、昨年をやや上回っている。特に「とてもそう思う」が上がる結果となった。「学校のきまり」については児童の実態を見ながら、引き続き内容を検討していきながら、より良きものへと見直していきたい。

12. 学校は子どもの適切な生活習慣や学校規律などの基本的な習慣の確立に取り組んでいる。



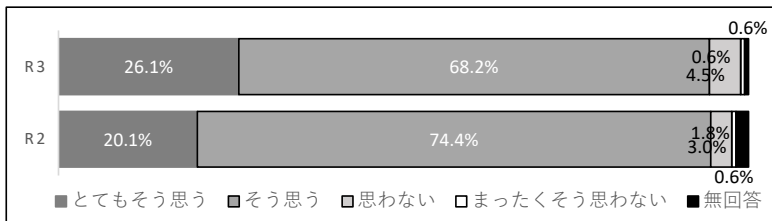
肯定的な回答の割合が96%と、昨年とほぼ同水準の結果となった。生活習慣や学習規律は児童の学校生活の基礎となるもの。引き続き学校全体で丁寧に指導していきたい。

13. 学校は発達段階に応じて子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



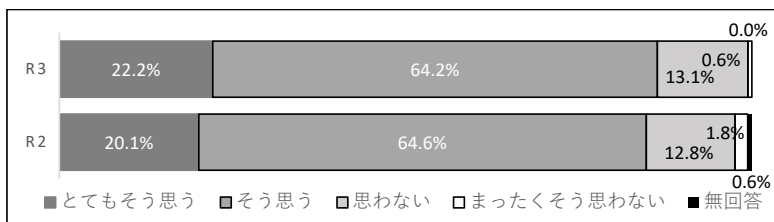
肯定的な回答の割合が89.2%と、昨年と比べてやや下がっている。道徳の時間を中心として学校生活全般を通じ、人権尊重の精神、自尊感情を高める取り組みを進めていきたい。

14. 学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。



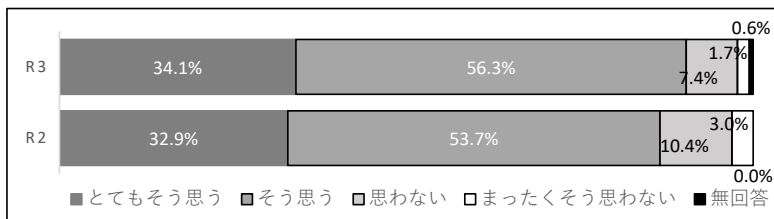
肯定的な回答の割合が94.3%と、昨年とほぼ同水準である。引き続き生命の大切さや、規範意識の育成などを学校の教育活動全体を通して指導していきたい。

15. 子どもは自分の思いや考えを伝える力（コミュニケーション力）がついている。



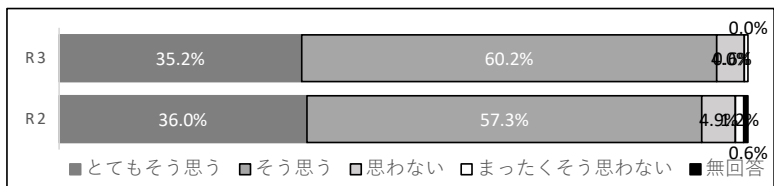
肯定的な回答の割合が86.4%と、昨年をとほぼ同水準である。コロナ禍の中の難しい状況だが、ペアや全体での話し合いに加えて、iPadを効果的に活用するなど、自分の考えを伝える機会をこれから増やしていきたい。

16. 家庭では宿題や連絡帳、おたよりを点検している。



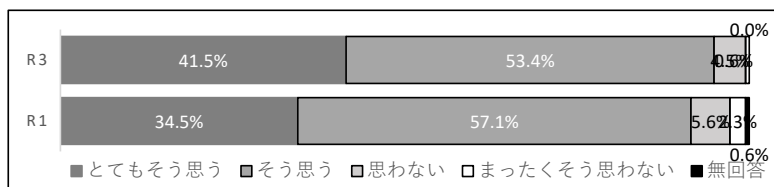
肯定的な回答の割合が、約90%になっており、昨年度を上回っている。なった。今後も児童が円滑に学習活動を進めるように、連絡帳の確認、点検など協力をお願いします。

17. 学校のことや学習について家庭で話をする。



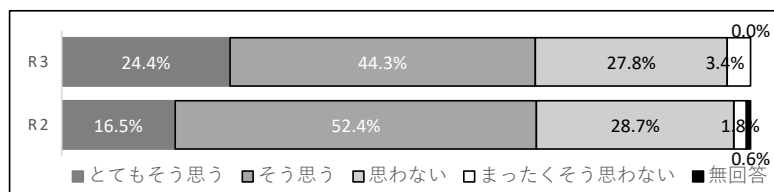
肯定的な回答の割合が95.4%と、昨年よりやや上回っている。今後も児童が楽しい学校生活を送りご家庭でその話ができるような取り組みをすすめていきます。

18. 学校行事（参観懇談、運動会等）に積極的に参加している。



肯定的な回答の割合が94.9%と、一昨年よりやや上がっている。コロナ禍で実施回数が少なかった行事にたくさんのご参観本当にありがとうございます。次年度以降も参加の方をよろしくお願いたします。

19. 保護者としてPTA活動に協力、参加している。



肯定的な回答の割合が68.7%と、昨年とほぼ同水準である。コロナ禍で例年通りの活動ができていないので、仕方ない側面もあるので、子どもたちの健やかな成長を支えるためにも、積極的な参加をお願いします。

